

|        |  |                                  |                               |                                |
|--------|--|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 学校教育目標 | 「人にやさしくありがとうの心で がんばるがんばる最後まで 本気で取り組むひがほんの子」<br>○自ら課題を見つけ、解決に向けて根気よく取り組んでいこうとする子を育てます。(知)<br>○自他のよさを認め、思いやりの心をもって、共に生きようとする子を育てます。(徳)<br>○心と体を鍛え、自分や人の命を大切にすることを育てます。(体)<br>○地域社会のために自らができることを考え、実践しようとする子を育てます。(公)<br>○様々な人や団体とのコミュニケーションを通じて、お互いを理解し合える子を育てます。(開) |                                  |                               |                                |
|        | 創立 47 周年<br>児童生徒数: 738 人   | 学校長 堂腰 康博<br>主な関係校: 東鴨居中学校・鴨居小学校 | 副校長 田島 馨<br>城郷中学校・城郷小学校・小机小学校 | 2 学期制<br>一般学級: 21<br>個別支援学級: 6 |

| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力                       | 中学校<br>ブロック     | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
|--|-----------------|--|
| <言語能力><br><問題解決・課題解決><br><情報活用能力><br><自分づくり> | 東鴨居中学校<br>鴨居小学校 | 仲間や地域との関わりの中で、ともに学び続ける子ども<br>豊かな感性を磨き、社会の一員としての自覚をもち、自立して生きていく子ども<br>・「子ども同士つながり、伝え合う」をブロック授業研究会のテーマとして設定し、各教科等においてテーマを意識し、一単位授業の中に「対話」の場面を取り入れた授業を展開する。<br>・授業参観、部活動体験、文化祭、ボランティア活動等を通して、中学校生徒との交流を深め、中学校への円滑な接続を目指す。<br>・児童生徒の指導上の課題を共有し、問題行動の裏にある子どもの気持ちを大切にしながら解決に向かう。 |

|  |
|--|
| <b>中期取組目標</b><br>目指す子どもの姿<br>○子どもが自ら「問い」を見出し、課題解決のために主体的に学び、互いの考えをつなぐ学習を通して、見方・考え方を広げ、学ぶ楽しさややり遂げる喜びを実感している。<br>○多様な価値観や背景をもつ集団の中で、互いの考えや意見を認め合いながら学校生活上の問題、まちや社会の課題を解決していくことで自分自身を成長させている。<br>1年目: 各教科において言語活動を充実させながら、授業の中でペアやグループ、学級全体で子どもたちが伝え合う活動を楽しんでおり、共に関わり合いながら学ぼうとしている。<br>2年目: 互いに関わり合いながら主体的に伝え合うことで、自分の考えを深めていく力をつけている。<br>3年目: 自信をもって伝え合うことで、グループや学級の考えを発展させたり、より豊かな表現を工夫したりする。 |
|--|

| 重点取組分野         |             | 具体的取組  |
|----------------|-------------|--|
| 知              | 生きてはたらく知    | ①子ども主体の「対話」を取り入れた授業を展開し、子どもたちが自ら学ぶ楽しさを感じるようにする。<br>②問題解決型の学習を通して、表現力や説明力、活用能力を高めるようにする。<br>③スキルタイムや家庭学習を活用し繰り返し学習することにより、学習習慣を整え基礎基本の定着を図るようにする。   |
| 担当             | 重点研究部       |  |
| 徳              | 豊かな心        | ①人権標語を学級ごとに作り、常時掲示し、学校全体で人権を大切にする風土を作る。振り返りも定期的に行う。<br>②人権週間に1年間の人権目標の振り返りを行い、人権について考えて生活してきたよさを実感し今後に生かすようにする。<br>③みどり養護学校との交流や児童会活動を工夫して実施し、さまざまな人とのよりよい人間関係の基盤を培うようにする。                                 |
| 担当             | 人権福祉委       |  |
| 体              | 健やかな体       | ①学校保健委員会で「手洗い・ハンカチ・せきエチケット」をテーマに健康に対する意識を高めるようにする。<br>②体育の学習や児童会活動を通して、体を動かす機会や外遊びを推進するようにする。<br>③年間計画に基づいた体力づくりや食育を教科・領域と関連させ、効果的に進めるようにする。   |
| 担当             | 体育部         |  |
| 公開             | 地域学校協働活動    | ①学校運営協議会を充実させ、PTAや地域と連携し、生活科・社会科の学習や総合的な学習、体験的な学習の充実を図るようにする。<br>②学校運営協議会や地域の諸機関と連携し、地域に根ざした学校づくりに励むようにする。<br>③地域コーディネーターと連携し、地域の特色を生かした人材や教材を見つけ、総合的・体験的な学びにつなげるようにする。                                    |
| 担当             | 地域連携委       |  |
| いじめへの対応        |             | ①いじめの未然防止や早期発見のために、いじめアンケート、YPアセスメントを活用し、日頃から児童の見守りや信頼構築に努めるようにする。<br>②児童支援専任や各学年の児童指導員を中心に、児童の実態把握と情報交換を行うようにする。<br>③いじめ防止基本方針を基に、いじめ防止対策委員会を中核として全教職員がいじめに対する共通理解、児童の見守り、速やかな対応を進めるようにする。                |
| 担当             | 児童指導部       |  |
| 人材育成・組織運営(働き方) |             | ①重点研やメンター研をはじめとする研究・研修の充実を図り、学校に求められる人材の育成と組織力の向上を図るようにする。<br>②各部主幹教諭が統括的役割、各部主任が中心的役割を果たし、機能的な学校運営を推進するようにする。<br>③働き方改革推進委員会を中心に各部会と連携をとり、仕事内容の精選を行い、負担軽減を図るようにする。  |
| 担当             | 教務部・働改推進    |  |
| 情報教育           |             | ①ICT活用を授業に効果的に取り入れ、教育活動全体ではぐくむ資質・能力(情報活用能力)の育成を目指すようにする。<br>②児童が日常的にGIGA端末を活用する中で、情報を発信、受信する際のメディアリテラシーを身につけさせるようにする。<br>③デジタル教科書などのデジタル教材を効果的に活用し、効率的な教材研究・授業準備を行うようにする。                                  |
| 担当             | 情報部・GIGA推進  |  |
| 特別支援教育・児童理解    |             | ①東本郷スタンダードや月目標を活かし、教職員が同じ目線に立ち、どの学年の児童にも声かけできる環境をつくるようにする。<br>②SSW、学校カウンセラーと連携し、学校・家庭・専門機関の連携を図る。必要に応じて、専門機関とのケース会議を設けるようにする。<br>③教室・特別教室の整備を進め、だれもが安心・安全で充実した活動が行える環境づくりを行うようにする。                         |
| 担当             | 特別支援委・児童指導委 |  |
| 安全教育・管理        |             | ①児童が日常の安全な生活を実践していくために、各教科・道徳・特別活動等のあらゆる教育活動を通して、必要な資質や能力を身につけることを目指すようにする。<br>②避難訓練を通して、的確な判断のもと自らの安全を確保するための迅速な行動をとれる能力を身につけることを目指すようにする。<br>③災害や事故に迅速に対応できるように、学校・家庭・専門機関の連携を図り、組織的に活動できる環境づくりを行うようにする。 |
| 担当             | 安全部         |  |